

やすらぎだより

2
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第152号

「目に見えないもの」

施設長 植田 誠



流行するインフルエンザへの対策や注意喚起の報道がピークを迎えている。当やすらぎ園でも年末以来数名ウイルス検出者の方がおられ、感染拡大防止のための処置を講じてはいるが、今冬は中々手ごわいと言わざるを得ない。主治医と衛生管理者、そして安全衛生委員会が連携しながらマスクの着用や手洗いの励行、早い目の医療機関受診や入館の一部制限等、施設として想定される手を尽くしてはいるものの、安堵には至っていないのが現状だ。本当に手ごわい。

インフルエンザウイルスや細菌は目には見えないものだ。正確には電子顕微鏡等で拝むことは出来るらしいが、一般にはお目にかかれない。お目にかかれたとしてもややこしいが、眼で認識することである視認をすることはできない。

最近、巷を賑わす‘仮想通貨’も目には見えないが取引できる通貨だという。仮想通貨という言葉の意味は、実際に無い事物を仮にあると考えること、と記されている。実際には無い事物の通貨が取引可能、訳が分からずついていけない。いっそ、‘空中通貨’という名称の方がわかりやすいのではないか。

空気という見えないものによって人は生を保てるが、見えないものによって大きな混乱を招く。

「目に見えることが絶対であり真実である」と思いがちな社会への警鐘とそう思いがちな私自身への戒めだと、インフルエンザの流行と‘空中通貨’を通し振り返らねばならない。

児童文学のベストセラー「星の王子さま」の一節にはこう記されている。「ものごとはハートでみなくちゃいけない、大切なことは目に見えない」見えるものに惑わされず、心の目でものごとを見ること。見えないものこそ真理がある。信仰とも通ずる人としての要だとも言える。

目に見えないものによって心揺れる毎日だが、目に見えないものによって心安らぐ日々でもある。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- | | |
|------------------|----------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ |
| ○在宅サービス事業所 | ○介護予防関連事業 |
| 居宅介護支援事業所 | ○グループホーム むつみあい |
| 訪問介護事業 | ○低所得高齢者等住まい・ |
| 訪問入浴介護事業 | 生活支援事業 |
| ○短期入所生活介護事業 | |
| ○在宅介護支援センター | |
| ○天理市東部地域包括支援センター | |